

ロシア

岩田守弘

「いわたものひろ」バレエダンサー

ポリシヨイ劇場随一の キヤラクター・ダンサーになる

文・北川剛史(外務省職員) + 北川裕子(会社員)

ソ連崩壊後の混乱するロシアにとどまらず踊り続けた

「モリ(岩田守弘の愛称)のような素晴らしいダンサーがいることは、ポリシヨイ劇場にとって大きな幸福だ。そして、ポリシヨイ劇場という、世界で最も素晴らしい劇場で日本人であるモリが活躍していることは、日本が誇るべきことだ」

これはソ連時代の伝説的ダンサーで、ポリシヨイ劇場の総合芸術監督も務めたワシリエフ氏の言葉である。

岩田はポリシヨイ劇場でも随一のキヤラクター・ダンサーだ。キ

ヤラクター・ダンサーとは、王子役などは踊らないが、『白鳥の湖』の道化のように、個性があり、バレエ全体にアクセントを与える重要な役回りだ。高度なテクニックを要する派手な踊りで、主役よりも注目を集めることもあり、高い表現力が求められる。

岩田は自ら踊るだけではなく、振付家として、日本人としての感性とロシアバレエの伝統を融合させたバレエ作品を生み出している。岩田の作品はとても力強く、そして人の心を惹きつける力を持っている。世界的に有名なダンサーが振り付けを依頼してくるほど

だ。岩田は1990年に留学生としてロシアにやって来て以来、19年間をロシアで過ごし、バレエに人生を捧げてきた。93年には世界で最も権威のあるモスクワ国際バレエコンクールで優勝するという輝かしい経歴を持っている。

ソ連崩壊を経て混乱を極めていた当時、ロシアにとどまらず踊り続けるといふ岩田の決意は並大抵

のものではなかった。彼ならば、ロシア以外でいくらかでも活躍する機会があったに違いない。しかも、ロシアでは「外国人だから」というだけの理由で、ポリシヨイ劇場入団への道も決して平坦ではなかった。それでも岩田は「日本に帰りたいと思ったことは一度もありません。ロシアバレエが、そしてポリシヨイ劇場が大好きだから」と言い切っている。

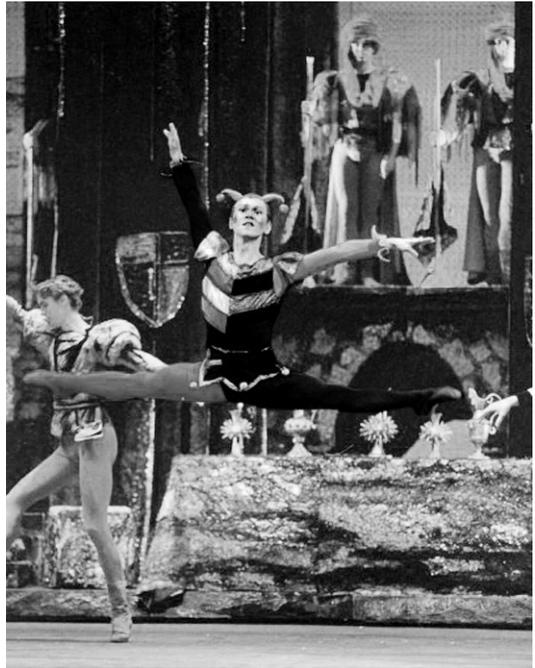


1970年、横浜生まれ。79年に父親の指導でバレエを始める。88年全日本バレエコンクール第1位。93年、第7回モスクワ国際バレエコンクールで第1位。90年からモスクワバレエ学校に留学、その後ロシアバレエ団を経て、96年にポリシヨイ劇場ソリスト、2003年同劇場第一ソリストに。ロシア人の妻・オリガと、二人の娘とともにモスクワ在住
ポリシヨイ劇場でダンスの稽古を行なう岩田守弘氏
写真提供: 筆者 (以下も同じ)

きたがわ つよし・きたがわ ひろこ ● 2003年から09年春までモスクワに滞在。08年『ポリシヨイ・バレエ：その伝統と日本人ソリスト岩田守弘』を出版

ポリシヨイ劇場との凱旋帰国で会場は拍手に包まれた

2008年は岩田にとって、新たな飛躍の年だった。6月には、長年の夢だった個人公演がモスクワで実現し、自らが振り付けたバレエ『魂』が上演された。西洋の芸術であるバレエと和太鼓の音、そして日本の感性を生かした踊りが見事に融合しており、劇場は大興奮に包まれた。岩田は「バレエを通して、日本を表現したかった」という。



岩田氏はバレエの作品で重要な役を担うキャラクター・ダンサーとして定評がある。上は『白鳥の湖』の道化、左は『ラ・バヤデル』の黄金の像の役



見た目の派手さだけではなく、人の心を表現し、見る者に生きる力を与えるものでなくてはならない」と岩田は常に語っている。その言葉どおり、舞台上のダンサーたちの踊りからは、苦しみ、悲しみなどと同時に、愛、勇気、そし

て希望が伝わってきて、舞台と観客との心が通い合った素晴らしい個人公演となった。

12月には、ポリシヨイ劇場の日本公演に参加した。祖国のバレエファンの前に姿を現し、シヨスタコーヴィチの音楽によるバレエ『明るい小川』で新たな大役を踊った。岩田が舞台上に登場したとたん、会場は割れんばかりの拍手に包まれた。凱旋帰国と呼ぶにふさわしい舞台だった。

それと前後して、NHKのテレビ番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』に登場した。この番組の対談で、岩田はいつさい自分を飾ることなく、ありのままの姿で語り、その一言一言には彼の真摯で、誠実な人柄がにじみ出していた。岩田には、ダンサーとしての技術力はもちろん、卓越した「人間力」がある。今回のテレビ出演でもそれが強く感じられた。

日露の文化交流の架け橋としてロシア友好勲章を授与された

活躍はロシアでも大きく注目されている。今年11月には、ロシアバレエを広め、日露の文化交流に

貢献した功績により、メドヴェージェフ大統領からロシア友好勲章を授与された。日本とロシアの間には長い文化交流の歴史があるが、岩田は今、バレエを通して両国の架け橋となっている。ロシアでは、テレビに出演するなどして、日本の文化を紹介している。

来年3月には、世界的なバレリーナであり長年ポリシヨイ劇場で活躍したニーナ・アナニアシヴィリ率いるグルジア国立バレエとともに日本にやってくる。『ロミオとジュリエット』に出演し、日本のバレエファンを再び興奮の渦に巻き込むことだろう。ぜひ見に行くことをお勧めしたい。



11月2日にメドヴェージェフ大統領からロシア友好勲章を贈られる岩田氏